

現在の景気：県内景気は、緩やかな持ち直し傾向が続いている。非製造業では、経済活動正常化の下で、観光や飲食などの対面型サービス業の回復が続いているほか、自動車や百貨店の販売も引き続き改善している。製造業では、海外需要の鈍さなどから生産活動の足踏みが続いている。この間、建設需要は、交通インフラ整備や物流施設などの官民プロジェクトの進展などを背景に総じて底堅く推移しているが、建設コスト上昇等から住宅着工に弱さがみられる。

3か月程度の見通し：非製造業は、物価高や人手不足の影響を受けつつも、経済活動正常化の下で、対面型サービス業を中心に持ち直しの動きが続くとみられる。製造業では、海外需要の鈍さの影響が続くとみられる。

個人消費：①上向き。②8月の県内百貨店（存続店ベース）の売上は、前年同月比6.5%増と8か月連続で前年を上回った（19年同月比では11.2%減）。猛暑の影響で夏物衣料が引き続き好調だったほか、帰省需要を受けて菓子類や食堂喫茶などにも動きがみられた。厳しい残暑となった9月も、秋物衣料が出足低調ながら、サングラスや日傘といった夏物雑貨は好調だった模様。8月の自動車登録台数は、部品調達難の緩和などから、同14.3%増と12か月連続でプラスとなった（19年比では17.9%減）。軽自動車（前年同月比22.4%増）、一般乗用車（同6.4%増）とも増加した。

住宅建築：①鈍化。②8月の新設住宅着工戸数は前年同月比22.4%減少し、3か月連続で前年を下回った。分譲（37.1%減）、貸家（同12.8%減）、持家（同7.6%減）いずれも減少した。

設備投資：①堅調。②国土交通省の「建設着工統計」（非居住用）によると、8月の工事床面積（年度累計）は前年同月比4.4%増加し、工事予定額は同30.6%増加した。千葉経済センターによる県内企業185社アンケート調査（7月実施）では、23年度の設備投資計画（6月末時点）は、期初計画比（全産業）では0.1%減の小幅の減額修正となったが、22年度実績額の2.6倍となった。

公共工事：①増加基調。②8月の県内公共工事請負額（年度初来累計）は、前年同月比5.0%増加した。市町村（前年同月比6.6%減）は減少したが、国（同51.2%増）、県（同14.3%増）、独立行政法人等（同4.3%増）が増加した。

輸出：①減少。②8月の成田、千葉、木更津3港合計通関輸出額は、前年同月比10.5%減と6か月連続で減少した。成田空港は、半導体等製造装置（同53.9%減）や科学光学機器（同19.4%減）などが減少し、同9.4%減と6か月連続で前年を下回った。千葉港は、石油製品（同67.8%減）や有機化合物（同32.4%減）などの減少により、同35.1%減と5か月連続で前年を下回った。木更津港は、鉄鋼（同69.6%増）や自動車（同29.5%増）などが増加し、同60.1%増と7か月連続で増加した。

生産活動：①一進一退。②7月の県鉱工業生産指数（季調済）は、90.3（前月比5.6%上昇）と3か月ぶりに上昇した。化学工業（同0.9%低下）や食料品工業（同0.8%低下）などは低下したものの、石油・石炭製品工業（同44.0%上昇）や鉄鋼業（同16.5%上昇）などが上昇した。

観光：①回復。②県内の観光・宿泊施設の入込は、国内個人客を中心とした需要拡大の動きが続いている。厳しい残暑が続くなか、「涼しい町」のイメージが定着する勝浦市では9月入り後も観光客でにぎわっている模様。東京ディズニーリゾートではハロウィーンの限定パレード「スプーキー“BOO!”」（9月15日～10月31日）が4年ぶりに完全復活し、盛況となっている。

雇用情勢：①改善基調。②8月の有効求人倍率（季調値）は、1.00倍と前月比0.01ポイント上昇した。有効求人数（同1.0%増）、有効求職者数（同0.1%増）とも増加した。

【トピックス】

- 千葉大柏の葉キャンパス内に、英国の名門「ラグビー校」の日本校が開校し（9月4日）、初年度は日本を含む16か国の140名が入学した。県に承認された私立のインターナショナルスクールで、英語による英国式の国際教育が行われる。
- 不動産大手「ヒューリック」は、成田空港近くの下福田地区に、約45haの国際航空貨物対応型の大型物流施設を建設すると発表した（9月5日）。地域未来投資促進法に基づく農地転用特例を活用した開発で、新滑走路が完成する29年3月末の稼働開始を目指している。同特例を活用する案件としては、オーストラリアの物流デベロッパー「グッドマングループ」に続く2件目となる。
- 県が発表した県内基準地価（7月1日時点）は、住宅地（前年比2.5%上昇）が2年連続で上昇した（9月19日）。市区町村別の上昇率では、都心へのアクセスが良好な市川市（同11.3%上昇）が首位で、浦安市（同8.9%上昇）、流山市（同7.2%上昇）と続いた。